

# 実習 2

## 家計表と ライフイベント表の作成



# 相談時家計表と家計計画表の作成

## 1. 事例相談者の説明

### (1) 主訴（本人の希望）

離婚したばかりで生活が苦しく、どうすれば良いか分からない。

### (2) 本人・家族の環境

本人30歳（女）職業 介護福祉士、配偶者（なし）

扶養中の子 5歳（保育園児・年長）1人、世帯合計2人

世帯の収入（給与7万円、手当5.2万円、援助1万円）

### (3) 債務・滞納の現状（世帯の合計を記す）

債務は総額で180万円（4件） 月返済額5万円～内訳別紙あり

滞納は、なし。

債務総額の内容は、アコム50万円、楽天KC50万円（月返済2万円×2社）、友人50万円（あるとき払い）、車ローン（ホンダ）30万円（月返済1万円）

### (4) 現状に至った過程・生活環境

相談者は、デイサービスで介護福祉士のパート勤務。元夫はパニック障がいを患い、実家に帰り離婚を望んだため2ヶ月前に離婚した。相談者は夫が家を出た後の住居で、母子2人の生活を始めたばかりである。

月2回程度の夜勤勤務のときは、子どもを勤務先の保育施設に預けている。シフトを増やせないかと事務所から言われていたし、今後夜勤増やしたいが、来年は小学校に上がるため、思案している。車で15分のところに住んでいる実母も離婚し一人暮らしで、生活は楽ではなくお金の相談はとてもできないが、孫の世話は協力してくれる。実父は県外に住んでいる。一年間程度なら応援してもよいと今月から送金してくれた。

元夫がギャンブルのために相談者のカードを使い借金が残った。返済の話し合いをしたいが元夫が負担してくれるあては全くなく、夫の実家は内装工事自営業で借金があると聞いている。養育費2万円は、夫との口約束であり、両親も負担してくれないと思う。別れるとき親子で激しい言葉で攻められたから顔も見たくない。

車は多少費用がかかっても仕事をする上では欠かせないため、手放したくない。手元に現金30万円程度は持っている。

### (5) 家計の収支項目と金額

相談者にインタビューしながら、相談者とご一緒に相談時家計表に記入して作成しますが、家計の収入と支出をまとめたのが以下の内容です。

## 1) 収入

給与7万円、児童手当1万円、扶養手当4.2万円、父援助1万円

## 2) 支出

家賃5万円、食費3.4万円、電気代0.5万円、ガス代0.8万円  
水道代0.2万円、被服理美容雑貨1.4万円、携帯電話（元夫4万円含む5万円）、  
ガソリン代1万円、駐車場代0.5万円、車検積み立て0.4万円、NHK受信料0.2万円、小遣い0.5万円、車保険料0.5万円、共済保険2人分0.6万円、  
自動車ローン1万円、消費者金融2万円、クレジット2万円。

## 2. 相談時家計表の作成

(1)「相談時家計表」を作成しましょう。

相談者の主訴に至った背景や生活環境を押さえながら、収入と支出の金額を相談家計表に記入して完成します。家計改善支援員になったつもりで、(収入)と(支出)欄の金額を家計表に転記しましょう。

(2)「借入金の状況一覧表」を作成しましょう。

債務・滞納の状況欄より、相談者に点検・把握していただくことができるように、分かりやすい一覧表にしましょう。

名義・種類・使途・借入時期の欄には既に記入しています。  
債務残高・月返済額等を記入して一覧表を完成させましょう。

(3) 相談時家計表（答えあわせ後）と「借入金の状況一覧表」を見て、相談者には、どのようなことに気づいて欲しいと思いますか？

あなたがこの相談者を担当する家計改善支援員になった場合、どのような点に注目し、どんな風にお声をかけるかなどを、イメージしてみましょう。

(4) 意見交換した内容を発表しましょう。

### 3. 家計計画表の作成

(1) 家計計画表は、相談者の課題を解決して家計が成り立つ場合の家計収支計画であり、月単位の家計予算書です。

相談時家計表で気づいた課題より家計改善の費目や金額、及び、家計改善支援員の支援を受けての解決策などグループで意見交換しましょう。

(2) 意見交換した家計改善の課題を元に、家計計画表を作成しましょう。

(3) 完成した家計計画表を元に、発表しましょう。

## ライフイベント表の作成

### 1. ライフイベントについて

ライフイベントとは、相談者とその家族によって必要不可欠な行事や資格取得や進学進級などの、数年先の生活設計を表す出費計画です。家計計画表に計上した収入・支出の変化も月単位で反映します。

相談者（家族）の生活設計であるため、相談者が家族と相談して作成するものです。ただし、家計収支の解決すべき課題に気づくことができるように、家計改善支援員がサポートしながら作成することが大切です。

ライフイベントで大きな出費を伴う記載漏れはないか、該当月や金額は妥当かどうかなどを相談しながら完成させます。

### 2. ライフイベント表の作成

相談者が2年間のライフイベント表を作成する場合、どのようなイベントがあると思いますか。

相談者の生活環境や子どもの年齢など考えながら、相談者の気持ちになって、ライフイベントを作成しましょう。